



### 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	イミシアホス を含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	ネグサレセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ ジャガイモシストセンチュウ	100倍	100ℓ/10a	植付前	1回	全面散布 土壌混和	1回
かんしょ	ネコブセンチュウ	4000倍	2ℓ/m <sup>2</sup>	生育期 但し、 収穫前日まで		土壌灌注	2回以内(定植 前の土壌混和 は1回以内、生 育期の土壌灌 注は1回以内)
きゅうり ピーマン				生育期 但し、 収穫14日前まで			
メロン すいか							
トマト ミニトマト		100倍	100ℓ/10a	定植前		全面散布 土壌混和	1回
樹木類	ネグサレセンチュウ	500倍	—	移植前	60分間 根部浸漬		





## 効果・薬害等の注意

- ミツバチ及びマルハナバチに対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチの巣箱及びその周辺にはかからないようにする。
- 蚕に対して、長期間毒性があるので、桑園に飛散しないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 空容器等はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 安全使用上の注意

- 医薬用外劇物** 取扱いには十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 使用の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入る。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

**治療法**…有機リン剤の解毒剤：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤。

**魚毒性等**…浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

**保管**…密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない冷涼・乾燥した所。カギをかける。種子、苗、肥料、他の農薬等と隔離する。盗難・紛失の際は、警察に届け出る。

